

特集

急速に進む少子・高齢化や価値観の多様化に伴い、社会インフラを整備するこれまでの公共サービスはソフト中心の社会扶助型に移行しています。NPO・ボランティアは、こうした社会変化にいち早く気づき、他の共感を得ながら「私」の利益を超えた公な活動に取り組んでおり、福祉や子育て、環境問題など、さまざまな分野に広がっています。

多方、企業においても、持続可能な発展のためには、地域の一員としてさまざまな社会的課題の解決に取り組むべきであるとの考えのもと、いわゆる「CSR(企業の社会的責任)」の取り組みが広がっています。

こうした中、「自分の住む社会・地域をもっとよくしたい」とする目標を共有し、市民、行政、NPO、企業など、異なる主体がともに力を合わせ活動する「協働」が広がってきており、社会に新たな価値を生み出す事例も多く見受けられるようになりました。

本号では、これまでの枠を超え取り組む県内の協働事例について紹介するとともに、近い将来、四国でも発生するといわれる大地震において、地域での「共助」の体制確立が、円滑な支援対応に寄与すると考えられることから、能登半島地震で被災した輪島市門前町道下(とうげ)地区の皆さんの復興までの様子についてご紹介します。

(研究員 田中 伝治)

■表紙のことは

最近動物をペットとする家庭が増えてきたとよく耳にします。しかし、動物を虐待するというニュースもよく聞きます。

子供の時から愛情を持ち、自分の心で感じながら動物を大切に育てることは、他者を思いやるという心を育てるための貴重な体験になります。

これからも、身勝手な人間により不幸な動物を増やさない社会、動物たちと飼い主、そして地域住民が共に安心して幸せに暮らせるような地域社会づくりを願っています。

柳原あや子



●アングル

地域づくりにおける協働とは

前田 眞/愛媛大学 社会連携推進機構 教授(地域連携コーディネーター) 1

●特集/皆が力を合わせ暮らしやすいまちづくりのために  
—さまざまな主体の参画、協働による地域社会づくり—

- ①「尊い命」一匹でも多く助けたい！  
高岸 ちはり/認定NPO法人えひめイヌ・ネコの会 代表 4
  - ②地域・高齢者を見守る取り組み  
平井 泰光/生活協同組合コープえひめ 運営企画部 6
  - ③地域の皆が協力して人にやさしく住みやすい地域づくり  
「認知症高齢者・ご家族が安心して住める角野校区に」  
藤田 俊治/すみの見守り・SOSネットワーク協議会 会長 8
  - ④多くの人が関わり育ててくれる宇和海熱成酒  
上甲 教文/NPO法人元氣島プロジェクト事務局 10
  - ⑤道後温泉本館貸浴衣の再利用からつながる『輪』  
堀江 素子/松山市社会福祉協議会 総務部 総務調整課 課長代理 12
  - ⑥私達が取り組む「協働」について  
泉谷 昇/NPO法人いよココロザシ大学 学長 14
- 座談会 能登半島地震 復興を加速させたのは地域の絆でした  
(石川県輪島市門前町道下(とうげ)地区における復興への取り組み)
- 田辺 清/輪島市立元諸岡公民館長/前道下総区長
  - 山崎 道子/輪島市立元諸岡公民館主事
  - 山本 司/(公財)えひめ地域政策研究センター所長 16

●まちづくり活動アシスト事業(報告)

当センターでは地域づくりのための活動費の一部を助成する「まちづくり活動アシスト事業」を実施しております。

- ①心のなかでいつまでも泳げ！こいのぼり  
～遊子川小学校の思い出によせて～  
富永 武仁/奥伊予ゆすかわ塾 塾長 20
- ②これからの「よのなか」を創る人を育てる！  
～こども・若者と「よのなか」をつなぐ学び～  
越智 大貴/NPO法人 NEXT CONEXION 代表 21

●研究員卒業レポート

- ①センターの役割、自身の役割、自問しながら過ごした2年間  
小池 賢治/愛媛県研修所 所長 22
- ②ECPRの1年を振り返って  
玉矢 啓介/(株)JAえひめ総合情報センター センター長 24

●特選ブログ/shin 1さんの日記

協働の地域づくり  
若松 進一/人間牧場主・年輪塾々長 26

●“MY TOWN” うおっちゃんぐ

近代の大師堂、130年後の平成にて終焉  
岡崎 直司/タウンツーリズム講座主宰・近代化遺産活用アドバイザー 28